

### 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の方々の普段の日常生活の様子をみながら、どうして欲しいか？何を望んでおられるかを考え自分たちには何が出来て、どのようなホームが望ましいか？BS法を活用し、全体会議で話し合い独自の理念を創り上げた。それを当ホームの理念とし常に意識付けをし、業務を行っている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	認知症になられても、その方がその方らしく笑顔で生活できるように・・などの理念に対し、笑える場、感動できる場を日常生活で接する会話や遊びの中でももちろん、ボランティア導入や行事、レクレーションなどの活動を通してからも取り組んでいけるように導入していつている。	
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	自治会の清掃に、利用者の方が参加したり、ホームの行事やボランティアの方の催し物に、ご家族や地域の方々もお誘いしている。運営推進会議で、利用者の方々へのご理解を地域代表の方に話している。又家族の方にも、地域の方の力が必要だと伝えている。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ほとんど毎日歩いている散歩では散歩中に地域の方から声を掛けていただく事はよくある。近所の方の中には、利用者が花を見てきれいだと言われるから、花を入れていると言ってくる方もおられる。ホームでの催し物に声をかけたところ、10人の近所の方が来訪して下さった。	
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の総会、おひまち、清掃（近所や神社）、自主防災勉強会、防災訓練に参加している。又自治会長さんをお願いをし、他にも利用者の方も一緒に参加できるものがないか、常にお尋ねをしている。	

岐阜県 福光グリーンホーム (さるびあ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる</p>	<p>近所の住民の方も高齢化しており、災害時には、 どう自主防災したら良いとか、地域の方の認知 症のご理解を、当ホームで勉強会と称し行ったら どうかなど自治会長や近所の方と話し合っている。</p>	
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価指摘された事に対し、チェックシートを作り 各ユニットで具体的に取るようにした。</p>	
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている</p>	<p>利用者の方々の普段の日常生活を見ていただき、 具体的に各ユニットで行われている事や取り組み について話し、それについてこうしたら良いとい うご意見を頂き、実際、避難場所の確認をし、各 家族に配る事ができた。</p>	
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる</p>	<p>何か分からない事があると、GH担当の方に電話で 聞くことがある。</p>	<p>○ 特になしと市に対し交流は無いため、サー ビスの質の向上に向け、今後交流を持って行きた い。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人 にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>その制度についての講習会を受け（GHの市部会 でもその制度の勉強会はあった）制度の理解を深 め、全体会議でその内容を他の職員とも、共有し ている。実際その制度をご利用されている利用者 がおられる。</p>	
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>その制度についての講習会を受けようと昨年申し 込みをしたが、定員割れで受けられなかったが、全 体会議で勉強会を行った。</p>	<p>○ 虐待が行われないように具体的にどう取り組んで いくのか、話し合っ行ってきたい。</p>

岐阜県 福光グリーンホーム (さるびあ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時には契約書を用い、分かりやすい言葉で説明をしている。退居にむけては、退居の届出書の提出を行う前に、色々家族と話しをし、次の行き場の情報を提示したり、一緒に見学に行ったりしている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者からの意見苦情等は、担当者・リーダー(副)・管理者と伝え利用者と相談し、解決が付かない場合は家族に相談をしている。	○  権利擁護事業をご利用の方は、毎月相談員が来訪され1時間話を聞いていかれるが、他の方は外部者に相談できる体制を作っていない、相談員を導入する事も考えていきたい。
14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の方の暮らしぶりや行事での参加の様子は、毎月封書で送る介護料の領収請求書と一緒に、その利用者の担当者が直筆で書き、時々写真も同封し、知って頂く。お小遣いは、3ヶ月に1度の割合で、来訪時説明し、同意を得たら印鑑を頂いている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内で意見箱を設置している。又3ヶ月に1度の介護計画のサービス担当者会議で家族の方にお尋ねするようにしている。	
16	○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、介護部運営会議で運営者、管理者と会議を持ち、反映している。	○  介護部運営会議並びに、友愛会全体管理運営会議で、意見を反映させる。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	花見の外出など行事で人員が多く必要だと思われる日には、勤務調整に努めている。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動や離職について、独断で行う事はない。管理者やスタッフの意見を聞き、ご利用者への影響を第一に考えている。</p>		
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人が行う研修会への参加、外部で実施されている研修会に順次出席できるようにしている。</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者が中心となり、地域交流等を検討し、ネットワーク作り、地元の方々との交流に取り組んでいる。</p>	○	<p>地域交流を一層進め、地域へ貢献できるよう様なものを、明確にしていきたい。地域の高齢の方から、気軽に寄っていただける交流が出来ると良い。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>管理者やスタッフの意見に傾聴し、出来るだけ意向に沿った環境づくりに取り組んでいる。親睦会を作り、年末や、歓送迎会での食事会に参加したり、慶弔時に、仲間として参加するなどしてる。</p>		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>管理者による目標管理を導入し、個別面談にて目標の確認を行っている。</p>	○	<p>目標管理の徹底化を行って行きたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前面接では、昔の職歴や趣味生活背景等を細かく聞き出すようにしている。実際ご自宅に訪問し、緊張されないよう配慮し、本心を聞きだせるように雰囲気作りをしている。担当のケアマネや医療ソーシャルワーカーより、情報を頂き、気付かない部分からも知るようにしている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用に至るまでには、何度も来訪され入所を罪悪感と感じておられる家族様もおられる。その不安を取り除くためにも、何度も会う機会を作り、納得されて申し込まれるようにしている。	
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	認知症対応の施設だとご存じなく来訪されたり、実際は入所まで考えておられなかったり、他の介護保険の施設を理解されたく訪問される方もあり、求めておられる思いを見極め、その都度ご説明させて頂いている。	
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人に実際見学に来ていただくように促したり、ご希望される方には、お試しとし1週間程入居を体験していただく事も行っている。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に調理をする事で、利用者の方々に色々な事を教えていただき、行事等を通し、喜びや感動を共有している。	

岐阜県 福光グリーンホーム (さるびあ)

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	年中行事などに参加して頂ける様に、ご家族に参加を募ったり、ご利用者の方の病院受診や散歩や外出にも、御協力頂けるように、声掛けを行っている。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	行事などのイベントを通し、一緒に過ごして頂ける様、声掛けをし、又つきに一度のお便りには、担当からご本人の近況を伝えている。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族にご本人が昔から大切にされておられた物を持ってきて頂ける様に話したり、外出や外泊が行えるように、声掛けをしている。		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	皆様との輪の中に入りにくい方も、スタッフが間に入り、声掛けをし一緒に参加して頂ける様にしている。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ご利用のサービスが終了しても、ホームに気軽に遊びに来られるように契約終了時には、声を掛けている。	○	終了後、継続的に関わりを持っていない。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前に事前面接にてご本人やご家族から、背景をお聞きし、どのような暮らしをご希望か聞き取りを行っている。又入居してから、知り得た情報を把握し、ご本人の希望を尊重出来る様努力している。	
34	○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本情報シート（アセスメントシート）を作成し、担当者以外のスタッフも、情報を共有している。	
35	○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	バイタルチェック（排泄、食事、水分等）を記録し、観察をしている。スタッフ全員が目を通す事で、把握に努めている。	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人やご家族のご希望を第一にケアプランを作成している。又ご本人ご家族参加のサービス担当者会議を3ヶ月に1度行い、新たなご希望や意見不満をお聞きし、ケアの向上に努めている。	
37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居時に暫定プランを立て、その後1ヶ月、短期は3ヶ月で見直しプランを立てている。又毎日のモニタリングをし、状況を把握しているものもある。	

岐阜県 福光グリーンホーム (さるびあ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をケース記録に記入し、気付いた点問題点があれば、ケアプラン作成時に見直している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人やご家族のご要望に応じ、同法人の特養の申し込みの紹介を行っている。母体の病院の理学療法士が毎週木曜日に来訪しており、利用者全員の個別メニューを考え、ホームのスタッフに指導し、その指導により、スタッフが毎日全員に個別リハビリを行う支援をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的にボランティアの方による、詩吟や習字お茶会三味線等を導入し、岐阜赤十字の方には、地域のいきいきクラブの活動に御協力頂き（清掃も）小学校や中学の訪問や北消防署の立ちあいで消防訓練を行っている。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在は行っていない。	○	現在、対象者がおられないように思うが、今後必要に応じ、行っていく事も考えていきたい。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議を通し、必要があれば協働している。		



岐阜県 福光グリーンホーム (さるびあ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	長年かかりつけ医として利用されていた医療機関を入所後も、継続し利用されている。ご家族の希望により、当法人の往診も行っている。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症専門医に受診し、様子や服薬管理に相談をしている。	○	信頼できる医療機関に、関わる事が出来る様に交流を行って行きたい。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ご利用者の体調に何か異変があれば、併設しているデイの看護師に相談したり、かかりつけ医のドクターに状況を伝えている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院されたご利用者の方の日頃の身体状況を伝え、情報交換している。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期の対応は、当ホームでは行っていない。重度化した場合は、ご家族と相談し、次の手立てを相談し他の施設への入所への申し込みをしていた。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終末期の対応は、当ホームでは行っていない。重度化した場合は、ご家族と相談し、次の手立てを相談し他の施設への入所への申し込みをしていた。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	事前面接での中で、ご本人やご家族との話し合いの場を持つ。昔の馴染みの物や家具などを持参いただき、ご自宅に近い空間作りに努めている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	その方の尊厳を大切にされた言葉かけや対応をしている。ケース記録等は、スタッフルームにて、保管している。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	何か援助を行う時には、まず声掛けにて伺いをしてから（了承を得て）行っている。選択できるように言葉掛けをし、ご本人の自己決定を尊重している。		
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝食に時間になっても、「まだ寝ていたい」と訴えられる方には、後のなって食べて頂き、ご本人のペースを大切にしている。		
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	お気に入りの化粧品を購入されたり、馴染みの美容院に、ご家族と散歩に行かれている。		

岐阜県 福光グリーンホーム (さるびあ)

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食の食事の準備や片付けとも、ご利用者とスタッフが協力して行っている。日曜日の食材は、ご利用者の食べたいものを聞いて、取り入れ一緒に買い物に行っている。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	牛乳を飲みたいと希望をされている方には、牛乳の配達をお願いしている。お菓子が買いたいと、ご希望されれば、一緒にスーパーに行き、買い物に行っている。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を作成し、排泄の様子を把握し、排泄の失敗の多い方には、トイレ誘導を支援している。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご本人のご希望にて、入浴出来る様支援している。夜間入浴も支援している。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間不眠の方には、午睡して頂いたり、日中散歩や身体を動かして頂いて、夜間の安眠につなげていただくように援助している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	レクリエーションアセスメントを作成し、ご本人のされたい事、希望によっては卓球や編み物等、出来る事を支援している。		

岐阜県 福光グリーンホーム (さるびあ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理をされるご利用者には、財布を持って頂いている。喫茶店や買い物等では、ご本人から、支払いをして頂いている。</p>	
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩で喫茶店、買い物等、ご本人の希望にそって、外出出来る様支援している。</p>	
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>花見や菊花展等、ご家族と一緒に外出される機会を作っている。</p>	
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>娘様と絵手紙の交換をされたり、電話をかけたいと訴えがあれば、ご本人に受話器をお渡しし、かけて頂いている。</p>	
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>ご利用者の娘様が、ホームにお泊りに来られれば、お食事や入浴をして頂き、居心地良く過ごして頂ける様、工夫している。</p>	
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束をしないケアを行っている。</p>	

岐阜県 福光グリーンホーム (さるびあ)

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1階の玄関の鍵をかけている。ホームの前の交通量が多い為である。居室の鍵はかけていない。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼間は、出来る限り起きて頂く。フロア内で活動して頂き、ご利用者の所在把握に努めている。夜間は2時間おきに巡視し、安全確認している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	包丁やピーラーやキッチンバサミを調理に使用している。布を切る際、ハサミを使用している。使用される際は、常にスタッフが、傍で見守り一緒に作業している。包丁類は、夜間鍵をかけるよう管理している。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒、行方不明などのマニュアルを作成している。お1人お1人の転倒が起こりえる状況を、話し合い、防止に取り組んでいる。毎月安全対策委員会を開催し、事故防止に努めている。		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変や事故発生時のマニュアルを作り、スタッフルーム内やフロアに掲示し、見やすい位置に貼ってある。定期的に職員の勉強会を行っている。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回防災訓練を、消防署の方に来ていただき、ホーム全体のご利用者も交え、行っている。玄関の壁には、地域の地図に避難場所への経路が印されている。地域での防災訓練にも参加している。		

岐阜県 福光グリーンホーム (さるびあ)


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	サービス担当者会議などの話し合いの場で、起こりうる事を話し合い、対応策を検討している。危険物の除去、転倒危険のリスクなど。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	ベット柵にて、腕に内出血が起こったと判断し、ベット柵に布を巻く対処を行った。訴えのないご利用者に対し、身体に何か異常が見られた場合、いつ出来たものか、スタッフ同志確認し、その原因を追究する。		
74	○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフ全員で、処方箋を見直し薬の飲み忘れが無い様、確認し支援している。		
75	○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェック表を記入し便秘の場合は、散歩に出かけて頂いたり、牛乳を飲んで頂いている。		
76	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアをして頂いている。出来る限りご本人で、行っていただいている。援助が必要な方は、援助している。又義歯は夜間お預かりし、洗浄剤で清潔を保っている。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事と水分の記録をし、水分は出来る限り摂って頂く様、10時のコーヒータイムには、コーヒーを飲んでいただいた後に、おやつとお茶を提供している。		

岐阜県 福光グリーンホーム (さるびあ)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎食前にイソジンガーグルで、うがいと、手洗いをして頂いている。インフルエンザ予防接種を行っている。感染対策マニュアルを作成している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	週に2回まな板漂白をしている。調理器具や茶碗、はし、お椀、湯のみなどの食器は熱処理後、しまっている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前に草花を植え、出入りしやすい環境作りを行っている。閉鎖的にならない様、庭木の手入れをしている。	○	駐車場のスペースが少ないので、ご家族の訪問にご迷惑をお掛けする事もあり、対処していきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合った掲示物をご利用者と、スタッフと共に作成している。昔の歌などをテープやCDから流し、居心地良く過ごして頂ける様に努めている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアの椅子の配置、ソファにて隣同士で仲良く話せる場作りをしている。		

岐阜県 福光グリーンホーム (さるびあ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居の際、家庭で使用されておられた家具、使い慣れた物を持ってきて頂ける様にお願いしている。(実際、96歳のお母様が使用しておられた筆笥をクリーニングされ持ち込まれたり、使用しておられた鏡台を持参された方もおられる)</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>調理中は換気扇をまわしたり、空気の入替えは、フロアの天窓を開け、行っている。エアコンを使用する際は、ご利用者に寒くないか、暑くないか頻回にお聞きしている。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>台所はご利用者も調理しやすい作りになっている。車椅子でも可能である。</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>失敗を強調する事により、ご本人混乱をより招いてしまう為、ゆっくり丁寧に声掛けしわかって頂ける様に支援している。</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>畑で農作物を栽培したり、フロア内にも植物や花を置き、季節を感じ楽しんでいただく工夫をしている。</p>		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

生活の中で、出来る限りご利用者の方に声をかけ、一緒に行なって頂く様にしています。掃除機をかける、洗濯の干しや取り込み、たたみ、毎食時の調理の中では、野菜を包丁で切る事や、もやしや根とり、あえものを和えていただいたり、小皿に仕分け、又新聞のたたみやお茶を小袋に入れていただく作業など、ご利用者の方々も、習慣となっておられ、ご自分で出来る事と認識され、進んで手伝って頂かれています。スタッフの言葉よりも、ご利用者の方々のお話される言葉のほうが多く、ご利用者の方同士で、相談されたり、何かあるといたわり合って話されておられる事も多く、生活になじんでおられる姿が見られます。スタッフは、風船バレーやゲーム、卓球などにお誘いし、体を動かし、楽しんでいただくレクリエーションにも積極的に参加して頂いています。又かるたを読んでいただいたり、塗り絵や計算、数字版などご利用者の方の出来る事を楽しんで行なっていただきながら、知能が低下しない取り組みを同時に行なっています。